

平成29年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業の改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

中間：平成29年5月22日(月)～6月16日(金)

期末：平成29年7月3日(月)～8月4日(金) ※集中講義は別途

(3) 実施科目

期末アンケートの実施率および回答率は、それぞれ94.7%(昨年度同期94.4%)、83.5%(昨年度同期83.5%)となり、昨年度とほぼ同じ率となった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	104	55	51	92.7%	2,601	2,059	79.2%	78.9%
工学部	87	44	44	100.0%	2,538	2,041	80.4%	84.2%
人間文化学部	161	68	63	92.6%	2,809	2,368	84.3%	82.1%
人間看護学部	37	21	19	90.5%	1,203	1,127	93.7%	90.1%
全学共通教育	234	61	59	96.7%	1,768	1,597	90.3%	91.3%
人間学	28	7	7	100.0%	879	656	74.6%	77.9%
地域科目	12	7	6	85.7%	1,154	965	83.6%	86.2%
合計	663	263	249	94.7%	12,952	10,813	83.5%	83.5%

(4) 設問内容

【あなた自身について】

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。

- ①全く読まなかった ②あまり理解していなかった ③ある程度理解した ④きちんと理解した

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。

- ①全く取り組まなかった ②あまり取り組まなかった ③ある程度取り組んだ ④かなり取り組んだ

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③ある程度できた ④かなりできた

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

- ①全く達成できなかった ②あまり達成できなかった ③ある程度達成できた ④よく達成できた

【授業について】

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。

- ①全く説明されなかった ②あまり説明がなかった ③ある程度説明があった
- ④しっかりと説明があった

- 設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。
①かなり聞き取りづらかった ②聞き取りづらい時があった ③問題なく聞き取れた
④とても聞き取りやすかった
- 設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。
①かなりわかりにくかった ②わかりづらい時があった ③わかりやすかった
④とてもわかりやすかった
- 設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③ややそう思う ④とてもそう思う
- 設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。
①全く確認していない ②あまり確認していない ③ときどき確認していた ④頻繁に確認している
- 設問10 授業の進め方はどうでしたか。
①遅いと感じた ②速いと感じた ③だいたい適切だったと思う ④とても良かったと思う
- 設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。
①満足していない ②あまり満足していない ③やや満足している ④とても満足している
- 設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いませんか。
①全く思わなかった ②あまり思わなかった ③ある程度思った ④強く思った
- 設問13 この授業でよかった点を記述してください。(自由記述)
- 設問14 この授業で改善して欲しい点を記述してください。(自由記述)

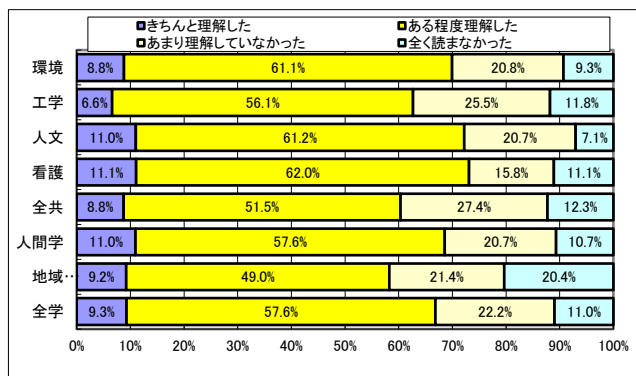
2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	地域	全学
Q1. シラバスの内容の理解	2.7	2.6	2.8	2.7	2.6	2.7	2.5	2.7
Q2. 授業時間外学習	2.5	2.7	2.4	3.0	2.7	2.4	2.9	2.6
Q3. 授業への集中度、意欲	2.9	2.8	3.0	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9
Q4. 到達目標の達成	2.7	2.7	2.8	3.0	2.9	2.8	2.9	2.8
Q5. 授業の進め方、成績評価等の説明	3.1	3.1	3.1	3.3	3.1	3.1	2.9	3.1
Q6. 話し方(スピード、声の大きさ等)	3.0	3.1	3.1	3.3	3.1	3.1	3.0	3.1
Q7. 視覚情報(板書、スライド等)	2.8	2.9	2.9	3.1	3.0	3.0	2.8	2.9
Q8. 講義資料(教科書、資料等)	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2	2.8	3.1
Q9. 学生の理解度の確認	3.2	3.3	3.1	3.3	3.2	3.2	3.1	3.2
Q11. 総合的な満足度	3.0	3.0	3.2	3.2	3.1	3.1	2.8	3.1
Q12. 当該分野への興味・関心	2.8	2.8	2.9	3.1	2.9	2.8	2.5	2.8

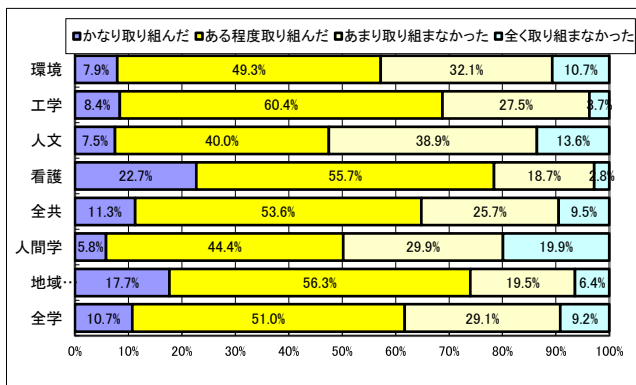
(2) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。



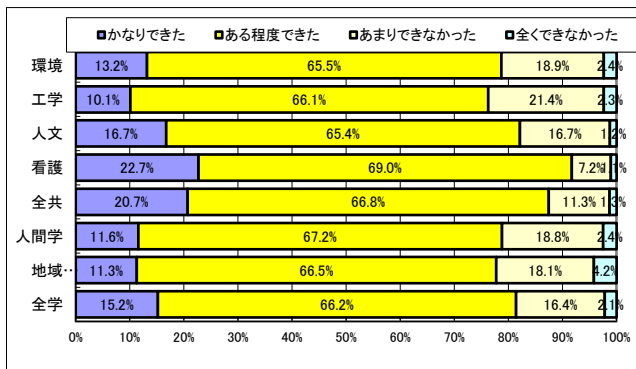
全体平均では、65%程度が「きちんと理解した」「ある程度理解した」と回答している。しかし、「あまり理解していなかった」「全く読まなかった」という回答も30%～40%程度あることから、引き続き講義概要を読み理解したうえで授業に取り組ませる仕組みづくりが必要である。

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。



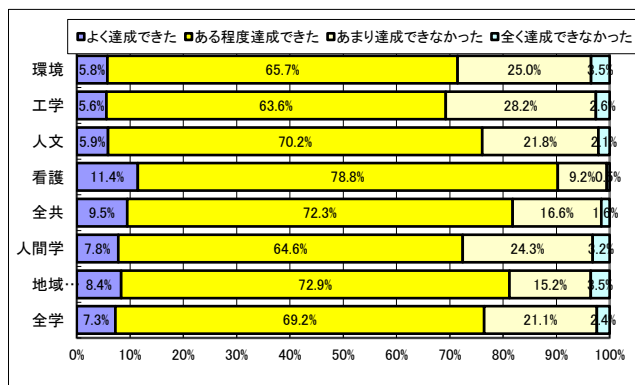
人間看護学部と地域教育科目で「かなり取り組んだ」「ある程度取り組んだ」の割合が高くなっており、授業時間外学習が行われていることがわかる。また、経年の傾向として、「あまり取り組まなかった」「全く取り組まなかった」の平均回答率は、平成27年度前期:約50%、平成28年度前期:約45%と推移しており、今回初めて40%を切った。授業外で学習を促す教育プログラムが徐々に浸透していることがわかる。引き続き、学生の授業外学習を促す取り組みの充実が必要である。

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。



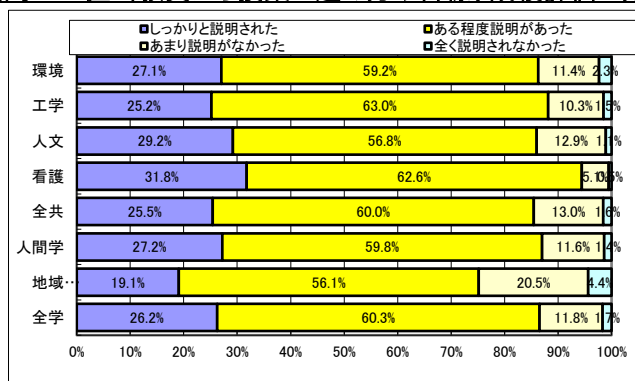
全体では約8割が「かなりできた」「ある程度できた」と回答しており、「全くできなかった」の回答は低い値となっている。特に、人間看護学部では、「かなりできた」「ある程度できた」の値が高くなっている。全体の傾向としては、例年とあまり変わらない。

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



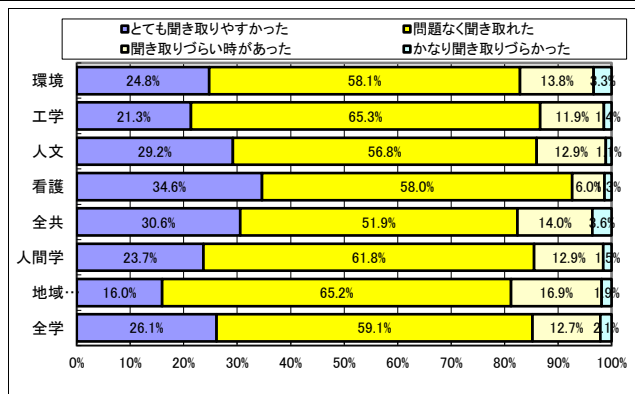
人間看護学部、全学共通科目および地域教育科目では、8割超が「よく達成できた」「ある程度達成できた」と回答しており、達成度が高いことがうかがえる。特に、人間看護学部の達成率が高く、90%を超えている。

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



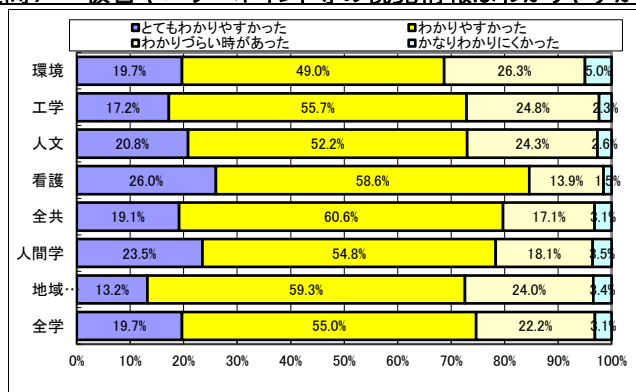
全体的には、8～9割程度が「しっかりと説明された」「ある程度説明された」と回答している。
しかし、「あまり説明がなかった」「まったく説明されなかった」の回答も1～2割程度あることから、今後も十分な説明が求められる。

設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。



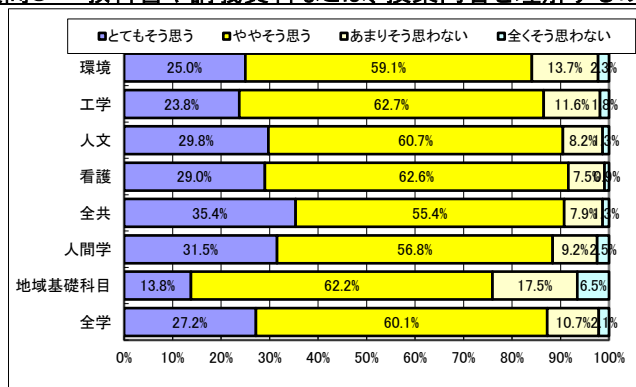
8割以上が「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」と回答している。特に人間看護学部では、「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」の回答が90%を超えており、満足度が高いことがうかがえる。

設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。



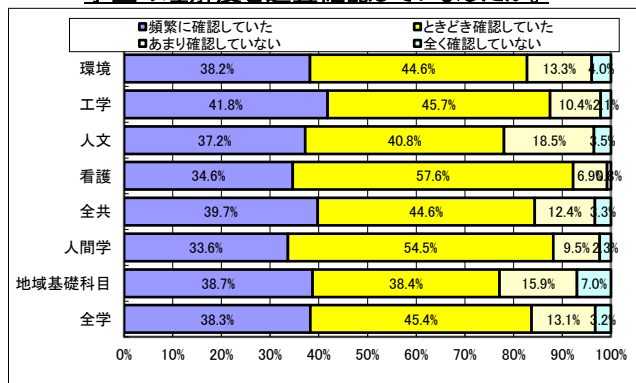
例年と同様に全体的には、7割～8割が「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答している。しかし「わかりづらい時があった」「かなりわかりにくかった」の回答も2割～3割程度あることから改善の余地があることがうかがえる。

設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



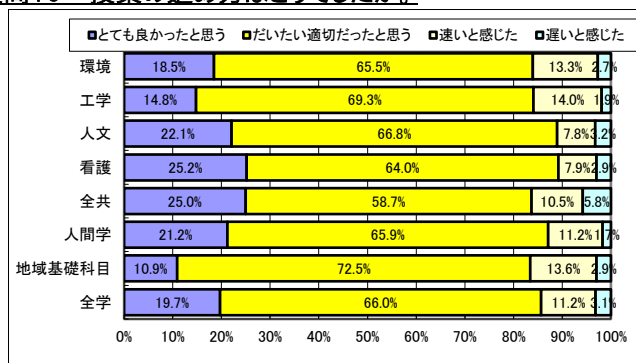
全体平均において85%以上で「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答していることから、教科書や講義資料については、比較的満足度が高いことがわかる。今回のアンケートでは、地域教育プログラムの科目では、満足度がやや低い結果となっている。

設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



8割程度で「頻繁に確認していた」「ときどき確認していた」と回答があった。一方で、「あまり確認していない」「全く確認していない」の回答も一定数あることから、学生とのコミュニケーションをとり、理解度に合わせた授業が望まれていることがわかる。

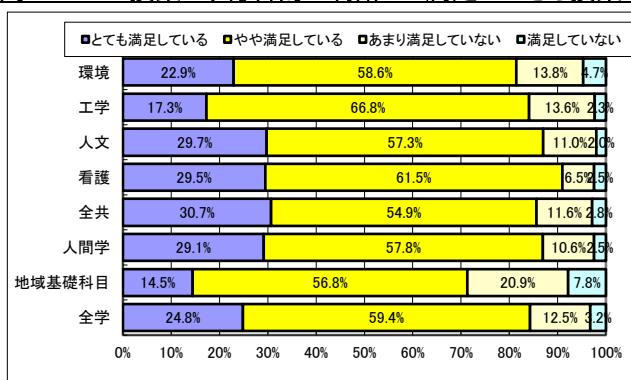
設問10 授業の進め方はどうでしたか。



8割以上の回答が「とても良かったと思う」「だいたい適切だったと思う」であり、満足度が高いことがわかる。

また、「適切でなかった」と考える学生の中では、「速い」と感じる方が「遅い」と感じるよりも多いことがわかる。

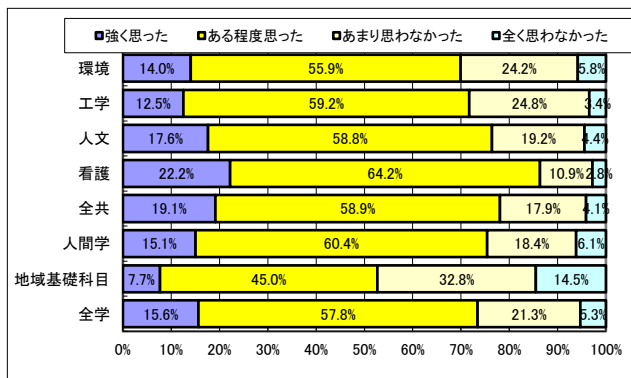
設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。



8割以上が「とても満足している」「やや満足している」と回答していることから満足度が高いことが見て取れる。

しかし、「あまり満足していない」「満足していない」の回答も1～2割程度あることから、改善の余地があることがわかる。特に、地域教育プログラムの科目では、3割近くになっており、他と比較するとやや低い満足度となっている。

設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。



「強く思った」「ある程度思った」の回答が7割～8割あり、特に人間看護学部では、9割近いものとなっている。

しかしながら、地域教育プログラムの科目では、約半数しかそのような回答がなかった。専門科目ではないが、地域貢献を標榜する大学としては、学生が興味をもって学習を継続したいと思わせる仕掛けがさらに必要と思われる。